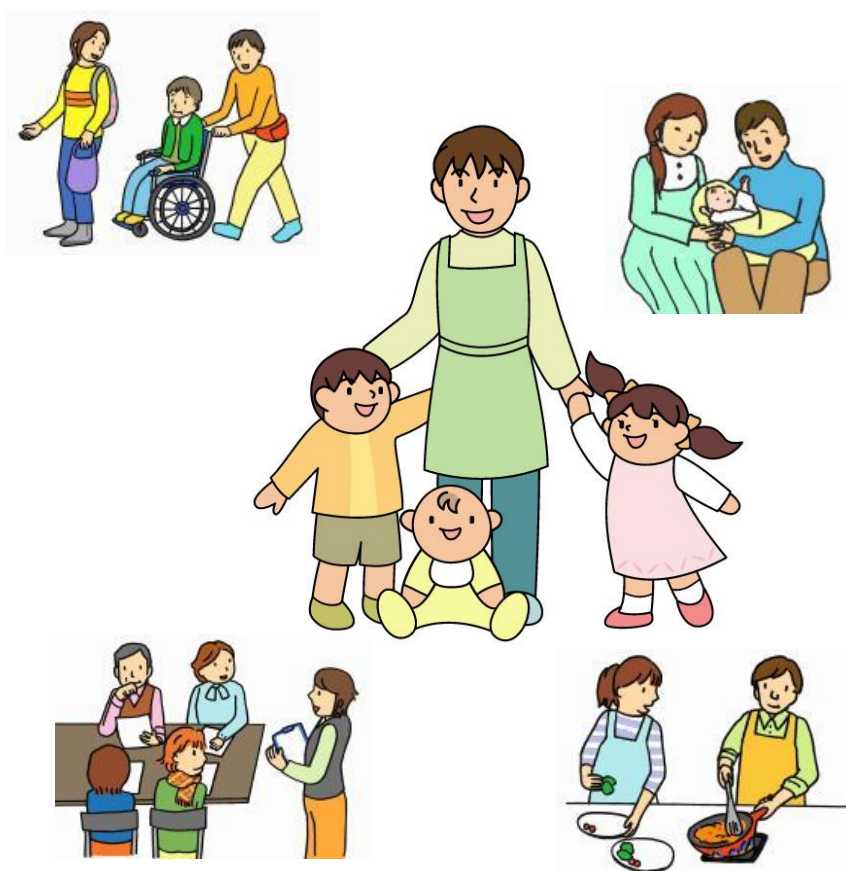


男女共同参画視点からの

表現ガイド



島 田 市

目次

初めに～考えてみよう、当たり前前表現～……………1

- ・ねらい
- ・表現が与える影響
- ・偏りのない広報
- ・男女共同参画社会の実現

1 性別で固定的な役割分担を表現していませんか？……………3

性別にかかわらず様々な人が協力し合うような表現を心がけてみましょう。

2 性別の固定的なイメージで表現していませんか？……………4

固定的なイメージの押しつけにならないよう配慮しましょう。

3 男女がバランスよく表現されていますか？……………5

性別にかかわらず対等な関係にあるような表現を心がけましょう。

4 男女で異なった表現を使っていませんか？……………7

「男のくせに」「女のくせに」等はNG。性別にかかわらず通じる言葉を選びましょう。

5 知っていますか？職業名……………9

「改正男女雇用機会均等法」により男女いずれかを表す職種の名称を使うことは禁止されています。

6 人目を引くための存在として女性を描いていませんか？…10

表現が受け手にどう伝わるか、誰に何を伝えたいのか考えてみましょう。

はじめに ～考えてみよう、当たり前表現～

何気なく使ってきた表現を、もう一度、見つめていただき、よりふさわしく、多くの人に受け入れられる表現となるようこのガイドを活用してください。

ねらい

性別による固定観念にとらわれない、男女の多様なイメージが浸透していくような表現に努めていただくことを目的としています。

イラストや写真、キャッチコピーなど様々な表現について、男女共同参画の視点から問題点を明らかにし、より適切に表現するにはどうしたら良いのか、ジェンダーに対する感覚を磨き、人権に配慮した情報発信を行うためにはどうしたら良いか、考えるきっかけ（手がかり）となり、男女共同参画社会への理解が深まることを期待しています。

ジェンダー

社会的・文化的に形成された性別。

生まれつきの性別（sex）がある一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性役割」「女性役割」（gender）があります。

表現が与える影響

イラストや言葉の繰り返し等は人々の意識形成に大きな影響を与え、社会現象や生活様式を規定していきます。これらは無意識に受け入れてしまうため、繰り返し目にする、耳にすることでものの見方（男性像、女性像）が固定概念や偏見の助長に繋がる危険があります。そこでメディア・リテラシーの育成が求められています。

メディア・リテラシー

情報が流通する媒体を使いこなす能力。メディアを流れる情報を取捨選択し活用する、メディアの特性や利用方法を理解し、適切な手段で自分の考えを他者に伝達する能力のこと。

※島田市においても「第3次男女共同参画行動計画」の中で、市刊行物について固定的な性別役割分担意識を助長させるような表現を用いることのないよう努めるとしている。

偏りのない広報

偏りなく伝えたいことを伝えるためには、

- ・ 誤解なく正確に伝えること
- ・ 男女問わず大勢の人に伝えること
- ・ 男女が安心して（不快感を与えず）受け取ることが出来るようにすることが必要です。

この「表現ガイド」は一つの方向性を示したもので、情報を発信する一人ひとりが性別による固定観念に気づくことが大切です。何気なく使っている表現を振り返り、日常の中の「あたりまえ」を見直すことで、偏りのない広報を行うための参考にしていきたいと思います。

男女共同参画社会の実現

女性と男性が互いの人権を尊重し、一人ひとりが個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指すために、島田市は平成 19 年に「島田市男女共同参画推進条例」を制定し、第 16 条に「公衆に表示する情報の表現の配慮」を設けています。

島田市男女共同参画基本条例第 16 条

何人も、公衆に表示する情報において、性別による固定的な役割分担、セクシュアル・ハラスメント及び暴力行為を助長する表現その他男女共同参画の推進を妨げる表現を用いないよう配慮しなければならない。

性別で固定的な役割分担を表現していませんか？

女性は家事・育児、男性は仕事という性別による固定的な役割意識はまだ残っています。好みや得意なことは人それぞれ。男性も女性も家庭生活、職業生活、地域生活等の担い手です。**性別にかかわらず、様々な人が互いに協力し合うような表現を心がけましょう。**



たとえば・・・家事・育児・介護

外で働くのは男性、家事・育児・介護をするのは女性だけというように男性の役割、女性の役割を決めつけていませんか。**様々な人が協力し合う**様子を描き、様々な個性を表現しましょう。

男性は仕事 女性は**家事・育児・介護**



男性も女性も共に**家事・育児・介護**



たとえば・・・仕事

様々な職業で男女が働いています。医師は男性で看護師は女性、消防士は男性で保育士は女性など、性別により職業を固定的に表現していませんか？



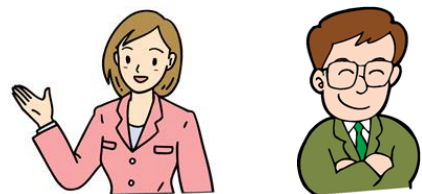
2 性別の固定的なイメージで表現していませんか？

男性、女性の固定的なイメージで、期待される性別像を決めつけていませんか？服装、外見、興味、関心、性格、行動について「男だから〇〇」「女だから△△」と画一的に表現をしがちですが、固定的なイメージの押しつけにならないよう配慮しましょう。

また、性のあり方は非常に多様です。性別によって必要以上に区別したり、固定観念や先入観で表現したりするのではなく、様々な個性があることを尊重し、多様な人を描くようにしましょう。

たとえば・・・外見

男性の服の色は青や黒系統、女性の服の色は赤やピンク系統などと決めていませんか？



たとえば・・・趣味・遊び

男の子はサッカー、女の子はままごとなど決めていませんか？



※人の「性」は、大きく以下の3つの性の組み合わせで成り立っているといわれています。多くの人は生物学的性と性自認が一致しており、性的指向は異性に向いています。それに当てはまらない人々のことを「性的マイノリティ」といいます。

- ①生物学的性・・・身体的特徴や性染色体などによって判断されるもの。「からだの性」とも呼ばれる。
- ②性自認・・・自分の性をどのように認識しているか、どのような性のアイデンティティを自分の感覚として持っているかを示すもの。「こころの性」とも呼ばれる。
- ③性的指向・・・人の恋愛・性愛がどういう対象に向かうのかを示すもの。

※性的マイノリティについては、P.11 に用語説明があります。

— ジェンダー・バイアス —

ジェンダーに基づく偏見の意味で、「男性は〇〇、女性は〇〇」といった一種の思い込みを指す言葉。社会のあらゆる場面での固定的な概念や男女の非対称的な扱いが存在するのは、ジェンダー・バイアスが原因です。

3 男女がバランスよく表現されていますか？

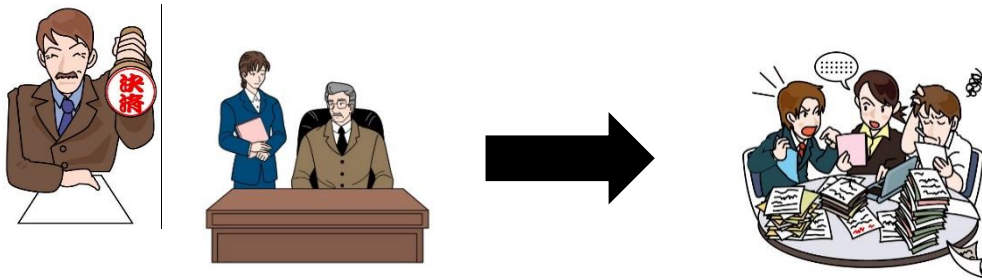
時代とともに言葉も変化します。何気なく使っている表現にも男性を中心とした社会構造や男女の役割分担意識、男性が強者で女性が弱者といったイメージが反映されたものなどがあります。

常に男性が指導的な立場、守る側として、女性を周辺の、従属的、守られる側として表現することなく、男女が対等な関係にあるような表現を心がけましょう。

たとえば・・・職場

男性だけが会議で発言をしたり、決定権を持っていたり、女性だけが補佐的な役割になっていませんか？

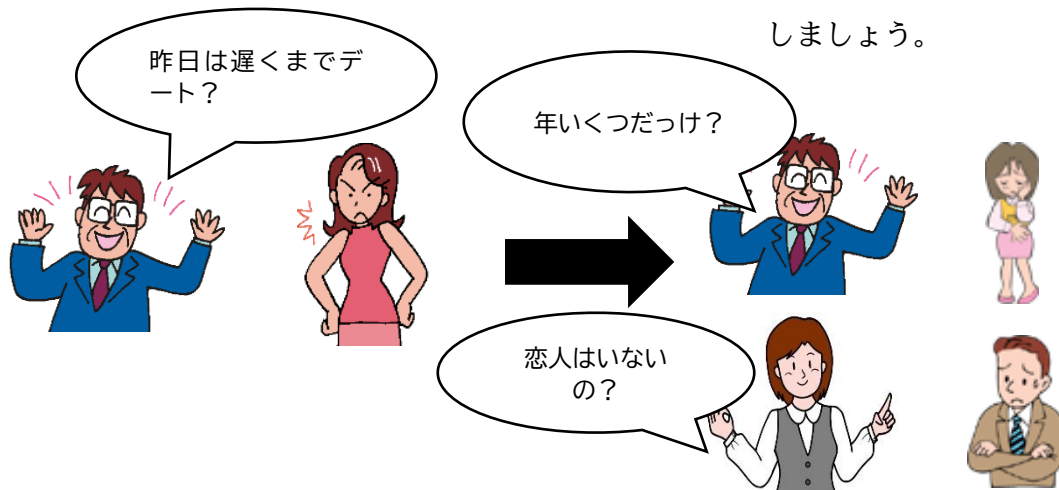
男女に上下関係や数的優劣はなく、男女が共に活躍している様子を描きましょう。



たとえば・・・被害者と加害者

パワハラやセクハラ被害者の多くは女性というイメージがありますが

たとえ、悪い例であっても、男女偏りがないように表現しましょう。



※セクハラには、被害者女性の名誉やプライバシー等を侵害し、個人の尊厳を否定する行為も含まれます。

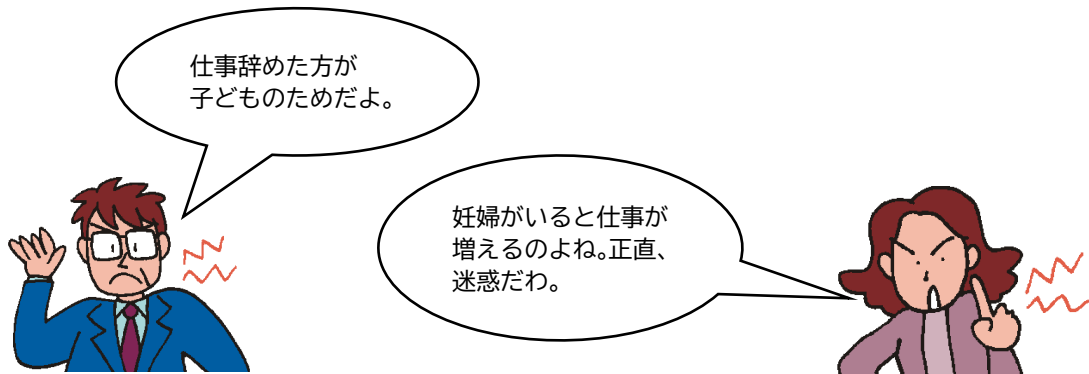
※セクハラは男性から女性に対する行為だけでなく、女性から男性に対する行為も含まれます。

マタハラ(マタニティ・ハラスメント)

主に妊婦に対して「迷惑」等の発言や重い荷物を持たせる等の嫌がらせを行い、精神的、肉体的に苦痛を与えたり、不当に解雇したりするもの。

マタハラによる精神的苦痛や肉体労働により「職場流産」が生じることがあります。

妊娠・出産・育休等を理由とした解雇・降格等は違法です。

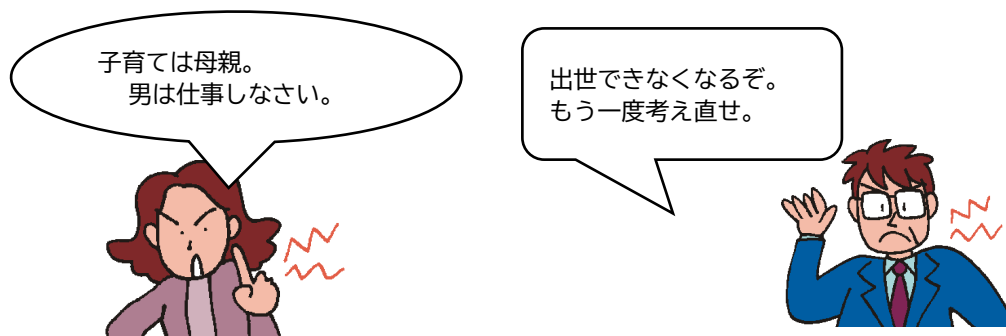


パタハラ(パタニティー・ハラスメント)

パタニティー (paternity 父性) とハラスメント (harassment) から成る造語の略。マタハラ
の男性版。

育児に参加しようとする男性に対して嫌味を言ったり、降格を示唆したりして、育児をする
権利や機会を侵害する言動のことです。

世代によって子育て観に対する意識のギャップが大きい事もパタハラが起きる原因のひとつ
とされています。



4 男女で異なった表現を使っていますか？

性別を入れ替えると意味が通じない、男性特有または女性特有の表現を使っていますか？

性を冠にした用語、男女を区別した呼称など男女を必要以上に区別して表現することは、本来対等である関係を崩し、性別に対する固定的なイメージを助長させる可能性があります。男性でも女性でも通じる言葉を選びましょう。

たとえば・・・個性を性別と連動させる表現

男はたくましく積極的に、女は優しく控えめにと意識を持った表現

女(男)のくせに
男勝り、女だてらに
女々しい
男らしい決断



男のくせに、
泣くな！

たとえば・・・男性を優先する、または男性を中心に人間全体を代表させる表現

父兄
兄弟
合格者〇人（うち女性〇人）



父母、保護者
兄弟姉妹
合格者〇人（男性〇人、女性〇人）

たとえば・・・必要がないのに、性別・年齢、容姿を強調する表現

女性医師・女医
女教師
女子社員
老婆・老女



医師
教師
会社員
高齢者

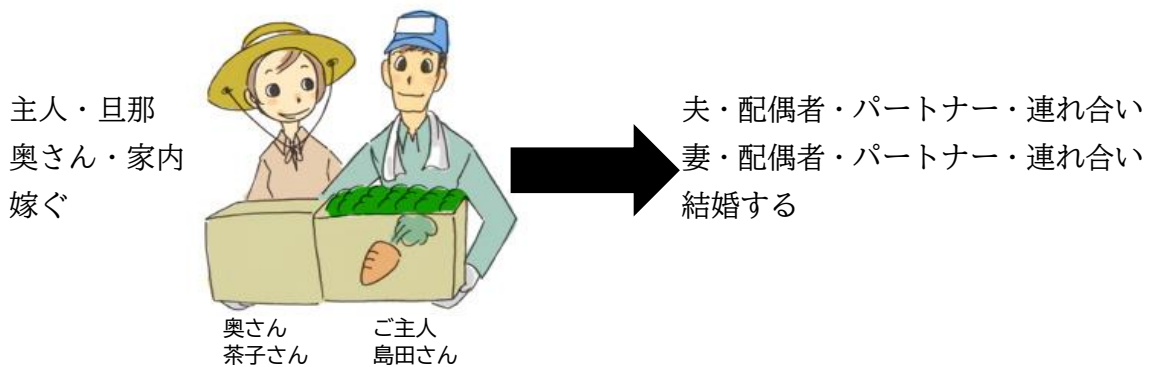
たとえば・・・女性を従属的にとらえる表現

内助の功
女房役



協力
補佐役

たとえば・・・家制度に基づいた男性を主、女性を従にとらえている表現



「配偶者」のことを何と呼びますか？

親しみを込めて「旦那、主人」「嫁、奥さん、家内」等と呼んでいる人が多いのではないのでしょうか。このような表現は上下、主従関係に繋がるイメージを与える可能性があります。「旦那・主人」は雇い主、目上の人といった意味もあり、「嫁、奥さん、家内」は、従来の家制度のもとで使用されてきた経緯もあり、家の中で家事をする人といったイメージを含んでいます。繰り返し、何気なく使うことで固定的な家族観や夫婦像に結びついてしまうかもしれません。情報を発信する場合、男女が互いに尊重しあう対等な関係を表す言葉として「夫、妻、配偶者、パートナー」などの言葉を適切に選びましょう。

家制度

戸主（家の長）が家族を統率する権限を持つ家族のあり方のこと。家の継承が重視され、「女より男」「次男より長男」という序列があり、財産はすべて長男が単独相続して**いました**。婚姻に戸主の同意が必要など法律上で格差があり、家族の権利が犠牲になる**危険性もありました**。

たとえば・・・性別により呼称を使い分ける表現

男性を〇〇氏、〇〇君
女性を〇〇女史、〇〇ちゃん

男女とも「氏」「さん」

たとえば・・・容姿の良し悪しを示す表現

美人アナウンサー
〇〇ちゃん
職場の花
イケメン シェフ

男女とも「氏」「さん」

5 知っていますか？職業名

改正男女雇用機会均等法により職種の名稱を募集または採用時に、男女のいずれかを表す職種の名稱を使うことは禁止されています。「男性歓迎」、「女性向の職業」等の表示も禁止されています。

※「営業マン（男・女）」募集」など女性を排除するものではないことを明確にする場合を除きます。

改正 男女雇用機会均等法

平成11年の法改正で、雇用の平等の見地から、男性のみ、女性のみ募集が禁止され、求人広告においても男性のみ、女性のみを表す職種の名稱を使用しないようになりました。（例：スチュワーデス⇒客室乗務員）

看護婦・看護師 保母・保父 保健婦・保健士 助産婦 スチュワーデス ウエーター・ウエートレス・フロアレディ サラリーマン・OL カメラマン ベルボーイ・ベルガール セールスレディ Chairman（議長） Fireman（消防士）	看護師 保育士 保健師 助産師 客室乗務員・フライトアテンダント・ キャビンアテンダント フロアスタッフ 会社員 写真家・映像技師・フォトグラファー ロビーアテンダント セールススタッフ Chairperson Fireperson
--	--

×にあてはまるこれらの表現は、性別により職業・役割を限定する表現になります。

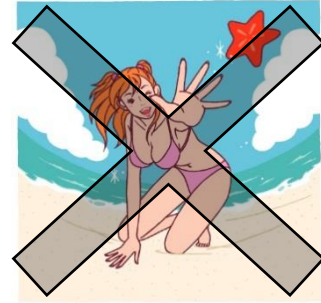
※Manは男性も女性も表現することがあるがWomanは女性のみを表します。Manだけが「人（男性も女性も）」を表現できることが問題であり、Personを使用することになりました。

6 人目を引くための存在として女性を描いていませんか？

伝えたい内容とは関係なく、人目を引く存在として女性の性的な側面や外見を強調することは、女性の尊厳を傷つけ、性を商品化することに繋がります。表現が受け手にどう伝わるか、誰に何を伝えたいのか一度考えてみましょう。

たとえば・・・「ポスター」

露出度の高い女性を登場させる **ことなど**、以前は「ビール」といったら「水着の女性」といった時代もありましたが、明らかに不自然な**広告**です。



ここまで確認したポイントを踏まえて、チェックシートをやってみよう！自分の広報物や表現を振り返り、よりふさわしく、多くの人に受け入れられる表現をもう一度考えてみましょう。

男女共同参画に配慮した表現チェックシート

チェック項目	
1	男女双方が想定された表現になっていますか？
2	男性と女性がバランスよく登場していますか？
3	男女を固定的なイメージで描いていませんか？
4	多様なタイプの男女が描かれていますか？
5	男女に、主従、上下、強弱の関係があるように描いていませんか？
6	人目を引くための存在として女性を描いていませんか？
7	男女で異なる表現、いずれかに特有な表現をしていませんか？
8	多様な性のあり方（性的マイノリティ等）を想定した表現になっていますか？

性的マイノリティ

性的少数派、ジェンダー・マイノリティとも言います。

一般的には同性愛者、両性愛者、性同一性障害の当事者、男女どちらとも思わない者、誰にも性的感情が向かない者等が含まれます。近年では、限定的に LGBT と呼ばれることもあります。周囲の理解が得られないことからいじめ被害や自殺に繋がりがやういとして、早急な対応が必要とされています。

LGBT

Lesbian（女性の同性愛者）、Gay（男性の同性愛者）、Bisexual（両性愛者）、Transgender（性同一性障害を含む性別移行）の頭文字から作られたもの。いじめ等を恐れてカミングアウトできず、一人で悩んでいる人も多くいます。



島田市地域生活部市民協働課

令和2年 月改定

TEL 36-7121 FAX 37-8200

E-mail shiminkyodo@city.shimada.lg.jp

HP

<https://www.city.shimada.shizuoka.jp/gyosei/zigyo-keikaku/sesaku/kyodo-sankaku/>